

自己点検・自己評価報告書

令和6年3月31日現在

学校法人 富山大原学園

富山大原簿記公務員医療専門学校

責任者 増田正夫

1. 実施方法及び結果

令和5年度自己点検・自己評価は、文部科学省生涯学習局が、平成25年3月に公表した「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にしている。ガイドラインにある(11)国際交流については、弊社では、現在留学生を受け入れていないので、学内での国際交流はありません。コロナ禍前は、毎年12月に大原学園のヨーロッパ研修に同道させていただき、弊学園から教職員最低1人と学生約10人異文化に触れて国際交流を行っていましたが、現在は行っていません。弊学園の学生が、希望すれば、再開いたします。

ガイドラインにあるのは、次の項目です。

- | | | |
|----------------|----------|------------|
| (1) 教育理念・目標 | (2) 学校運営 | (3) 教育活動 |
| (4) 学習成果 | (5) 学生支援 | (6) 教育環境 |
| (7) 学生募集 | (8) 財務 | (9) 法令等の遵守 |
| (10) 社会貢献・地域貢献 | | |

これらの項目に関し、学校創設から今日までの弊学園での事象を文章化し、全教職員に配布し、AからCまでのランク付けをしたものの提出を受け、これを点数化したものを集計しています。

(1) 教育理念・目標

富山大原学園学則第1条を示し、これに沿った教育を行ったかを確認しています。また「合格」に力が入りすぎ、仕事で「奉仕」をすることを、おろそかにしていないかを問うています。AIが氾濫してくる世の中にあつて、どんな人材を育てるべきか、公正感がなくていいのかの危惧と「人」優先であるべきと説いています。

A……8人、B……13人、C……0人

(2) 学校運営

教育と経営を問うています。学生・教職員・学校のバランスは、ここまでの経験を踏まえて問うています。教える側の理想は、「明日来た時は、理解度が皆同じ」。この言葉の履行を行ったことを、教職員に率直に知らせ、学生・教職員・学校の均衡のとれたバランス感覚が大切と伝えています。

A……7人、B……9人、C……3人

(3) 教育活動

教育活動では、挨拶を指導しているかを問うています。また、体罰に触

れています。アカデミックハラスメントと SNS の扱いにもふれ、学生対象の災害共済保険に加入していることを知らしめています。

A……7 人、B……12 人、C……0 人

(4) 学習成果

毎年入学時にアンケートを取り、その期待に応える学習成果を出すことを試みている。その期待は、「就職」と「資格」である。毎年、その年度の成果をホームページに発表している。

「就職」には、挨拶とコミュニケーション力と仕事の達成力・奉仕力が必要と説いています。

「資格」には、時間をかければ、資格取得は、高くなるが、時間のかけ過ぎは、評価されませんと説いています。

退学にも触れています。入学時の希望が、なぜ無くなったのか。学生の出欠状況への関心を持っていないと急に退学という事態はありえません。退学を申し出た場合の対処も指示しています。

A……5 人、B……12 人、C……2 人

(5) 学生支援

学生に支援が必要と考えられる場合、まず学費・SNSによる学生への中傷・病気の場合、学生の味方に立って支援する必要性を感じたからです。授業がわからない場合や就職に消極的な場合も支援を行います。学生に異変があると出席に即反映すると説明しています。

A……4人、B……13人、C……2人

(6) 教育環境

教育環境の美化にポイントを置き、業者清掃は、勿論取り入れていますが、学生にも美化意識を持たせたいと考えています。管理職は率先垂範であるが、どの程度意識が浸透しているか確認しています。

また、教室環境も変わりつつあります。デジタル教材の導入に伴い、全館 Wi-Fi 工事を行いました。教科書を iPad に置き換える過渡期でもあり、従来北側教室に用意してありませんでしたが、学習に集中しやすい環境を整えるため、ロールカーテンを取り付けました。

A……8人、B……11人、C……3人

(7) 学生募集

富山大原は、「就職率が高い」「公務員に強い」といわれています。

教職員は、これらの評判は、「学生の募集」には効果があったと考えていますが、これらの評判は、砂上の楼閣にすぎないと戒めています。少子化時代にあつて、懸命な努力を続けていかなければならないとしています。

A……5人、B……12人、C……4人

(8) 財務

財務に影響するのは、入学者の人数、退学者の人数である。またあらゆる面で、全職員が節約を心がけなければならぬと説いています。

A……1人、B……15人、C……5人

(9) 法令等の遵守

学生・教職員共々国民は、等しく法令を遵守しなければなりません。特に学生に関わる道路交通法(飲酒運転の厳罰、スピード超過等)、公職選挙法(投票の大切さ等)、国民年金法(学生納付特例制度の仕組みや促進)、刑法・条例(スローカー行為、盗撮等の罰則)、著作権法(厳罰化等)、受動喫煙法(学校内での喫煙禁止)など。

A……17人、B……5人、C……0人

(10) 社会貢献・地域貢献

デザインで地元へ貢献、地元へ販促ができるという地域貢献、あるいはセレモニーに手慣れているということで、ホテル・ブライダル学科に司会の依頼があったり、公務員の任官者を多く輩出するにつれて、多くのボランティアを要請される。学業に支障がおよばない範囲内で応じています。

A……7人、B……11人、C……2人